

むすぶ

秋田県教育庁生涯学習課
社会教育・読書推進班

いよいよ読書の秋到来。
読書イベントが県内各地で
開催されます。普段読書しな
い方も、これを読書のきっか
けにしてみませんか？



高校生ビブリオバトル地区大会

今年は真夏の秋田大会からスタート!

今年も高校生ビブリオバトルが始まりました。昨年と同様、県内5会場で地区大会を実施。それぞれの大会から2名が地区代表として全県大会に出場し、全国大会を目指すことになります。



緊張しながらも堂々とプレゼンテーションしました



バトルー自身も積極的にディスカッションに参加



今年度のポスター

8月6日(土)、秋田市立中央図書館明德館で秋田大会が行われました。秋田市はこの日も朝からぐんぐん気温が上昇。市内3校から参加した8名のバトルーたちは、照り付ける太陽にも負けない熱弁をふるいました。

観戦した高校生は、こんな感想を述べています。「たくさんの本の紹介があり、読んでみたくなる本もありました。心に残る言葉もたくさんありました。発表もとても上手で見習いたいです。今回は観戦だけでしたが、少し、出てみたいな、という感じにな

りました。私は本を読むのが好きなので、今回は楽しかったです。紹介された本を読んでみたいと思いました。」

投票の結果、チャンプ本には『伊勢物語』(秋田南高等学校1年能美寧々さん)と『新釈走れメロス 他四編』(秋田西高等学校2年鷹島由季さん)が選ばれ、11月3日の県大会に出場することになりました。



鷹島さん(左)と能美さん

| 紹介された本の名前 | 発表者 |
|---|-------------------|
| 艦隊これくしょん—艦これ— 航戦出ます! (鷹見一幸・著) | 竹村 竜一さん (秋田南高校1年) |
| ぼくは勉強ができない (山田詠美・著) | 斉藤 萌加さん (秋田南高校1年) |
| ミッキーマウスの憂鬱 (松岡圭佑・著) | 大川 彩音さん (秋田南高校1年) |
| 少女は卒業しない (朝井リョウ・著) | 正木 梨湖さん (秋田南高校1年) |
| 僕らのごはんは明日で待ってる (瀬尾まいこ・著) | 佐藤 詩月さん (秋田南高校1年) |
| 伊勢物語 講談社『21世紀版少年少女古典文学館(2)竹取物語 伊勢物語』(俵万智・著) | 能美 寧々さん (秋田南高校1年) |
| 新釈走れメロス 他四篇 (森見登美彦・著) | 鷹島 由季さん (秋田西高校2年) |
| また、同じ夢を見ていた (住野よる・著) | 飯田 成さん (明桜高校3年) |

今後予定されている
高校生による
ビブリオバトル大会

【横手大会】 サンサン横手 10月 1日(土) 13:30~15:00
 【由利本荘大会】 由利本荘市中央図書館 10月 8日(土) 13:30~15:00
 【大館大会】 大館市立中央図書館 10月15日(土) 13:30~15:00
 【全県大会】 秋田県生涯学習センター 11月 3日(木) 10:00~12:00

完成しました!

読書フェスタ
イベントパンフレット



10月22日(土)から11月3日(木)まで、秋田県読書フェスタを開催します。県内どこでも読書に親しむことができるように、イベントをまとめたパンフレットを作成しました。各市町村の図書館を始めとする社会教育施設等に置いています。また、県生涯学習課のHPにも掲載していますのでご活用ください。



テーマ展示ワークショップ

学校図書館活性化支援実践研修講座

県生涯学習課は、今年度より、学校における読書の充実を図るため、学校図書館の環境づくりや読書活動の在り方について、担当職員のスキルアップを図るために、研修講座を実施しています。

7月27日（水）、県立図書館を会場に開催したテーマ展示のワークショップに、23名の学校司書や読書関係職員等が参加しました。



様々なアイデアを出し合う



黙々と作業する

今回の研修は実践編だったので、課題を設定して難易度を上げました。作成テーマ「読書しない、来館しない子どもを呼び込む」「ラノベやマンガしか読まない子どもに読書の楽しさを伝える」「新1年生に図書館や本を紹介する」の中から一つを選んだほかに、「先生やPTA、ボランティアを巻き込む」「学校行事と関連づける」「子どもを参加させる」などの要素をプラスさせました。



初対面のはずなのに、抜群のチームワークで展示をつくります



それでも、経験豊富な参加者たちは、閲覧室から様々な図書を借りてきては、限られた材料と道具を使って、短時間で展示を完成することができました。



読書に興味の無いスポーツ好きの男子を対象にした展示(上)
ゲーム好きにリアルな世界や昆虫の魅力を伝える展示(下)

最後に情報交換を行いました。必読図書の選定、魅力的な図書館だよりの発行、読書通帳の活用、遊び心のある掲示、「読書すごろく」「読書の木」「読書キング・クイーン表彰」「本のやみなべ」「ブックポイント」等のオリジナル企画など、すぐにまねしたくなる実践例がたくさん紹介されました。

子どもたちを本へと誘う入り口 学校図書館訪問から

学校図書館の入り口には、子どもたちを本の世界に誘う様々な仕掛けがなされています。人気シリーズのテーマ展示や季節を感じさせる掲示、愛嬌たっぷりのぬいぐるみの活用、座り心地の良いイスの設置などは、特に効果的です。また、「ようこそ」の言葉で迎えてくれる表示があると、思わず長居したくなります。そのほか、オリジナル看板を掲げたり読書の楽しさを謳ったりすることで、環境づくりをしています。

「いかわブックランド」オープン 井川小学校第二図書館室



整備途中の空き教室



本の世界を楽しむ子どもたち

井川小学校の図書室は高学年棟にあります。この度、低学年の身近にも本を置きたい、という思いから、職員と図書委員たちが、力を合わせて第二図書室をオープンさせました。

夏休み中、1年生の隣の教室を整理し、書架を移動し、畳やマットを敷いて座って読める場所や隠れ家のようなコーナーもつくりました。こうして完成した「いかわブックランド」（児童命名）は、思い思いのスタイルで本を楽しむ子どもたちで連日大賑わいです。

秋田県教育庁生涯学習課
社会教育・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

